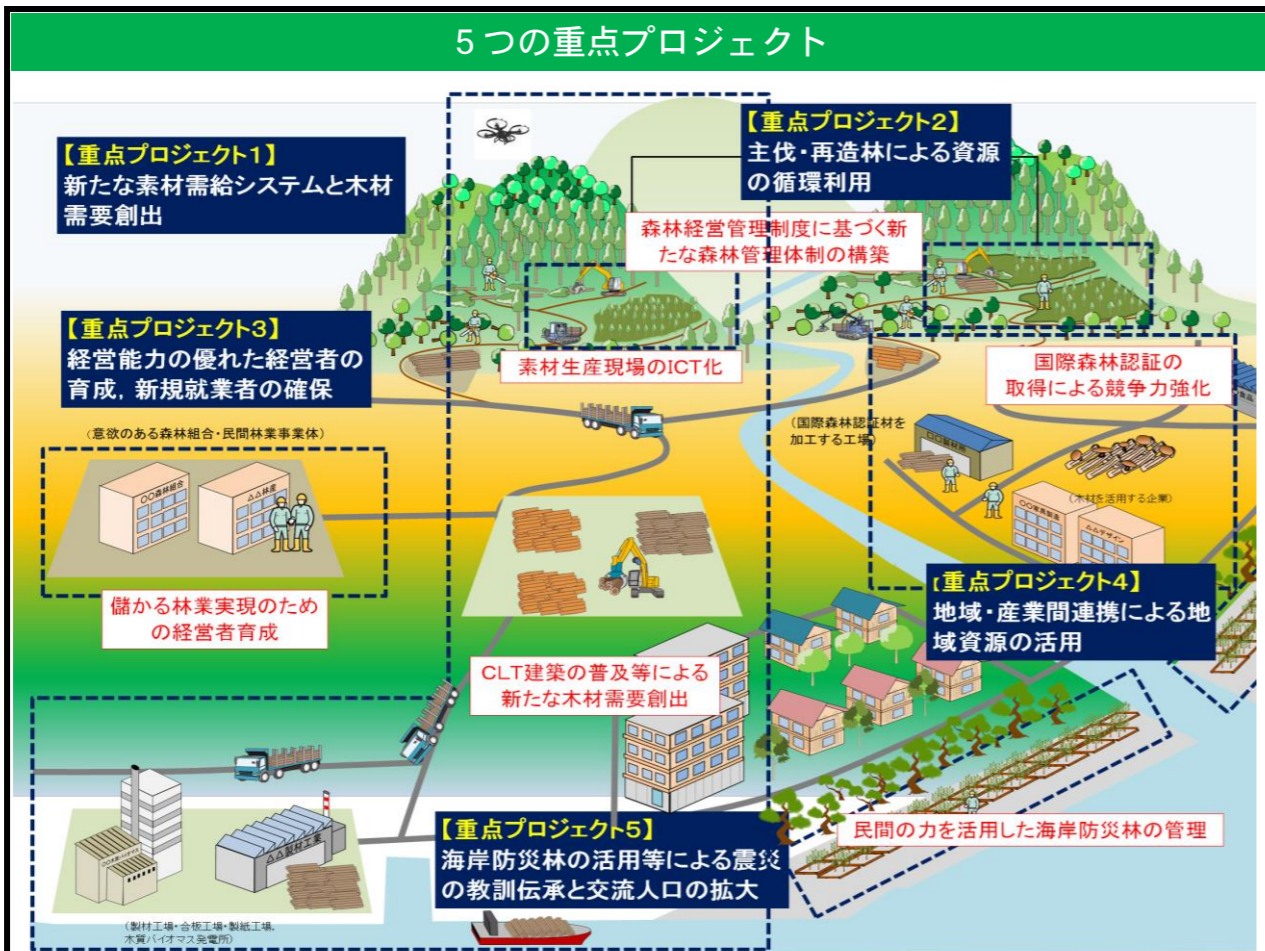


県では、4つの政策推進の基本方向に沿ってこの10年間で各種施策を展開していく中で、特に力を入れる取組を「重点プロジェクト」として5つ設定しています。



プロジェクト1 新たな素材需給システムと木材需要創出

素材生産現場のICT化

- 【素材流通システム構築に向けた取組支援】
- 森林資源の「賦存量」を効率的に把握する3Dレーザースキャナーの導入・実証を行った。
- 川上側の賦存量等の情報を集積し、川下側に迅速かつ正確に情報を提供するため、素材一元管理システムの開発を行った。



3Dレーザースキャナーによる調査

CLT建築の普及等による新たな木材需要創出

- 【「宮城県CLT等普及推進協議会」の活動支援】
- CLTを活用した製品の開発、設計・施工技術者の育成活動支援、一般県民への普及活動等を行った。



製品開発の打合せ

施工技術者の育成講習会

- 【オールみやぎによるCLT建築物の普及活動支援】
- CLT建築のトータルコスト低減に向けた実証、非木造建築分野への需要創出、住宅分野へのCLT普及促進等を行った。



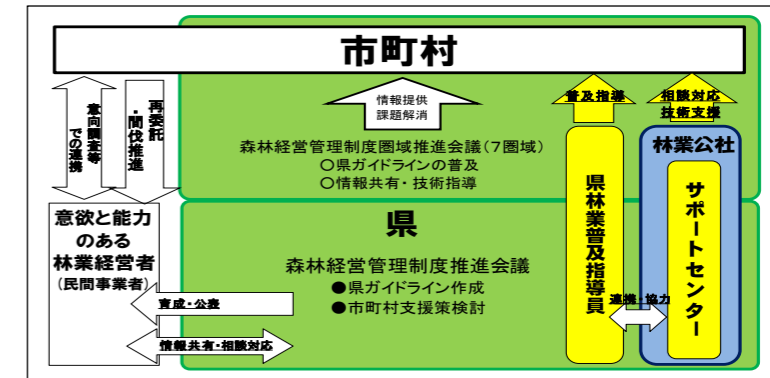
一般県民への普及活動

住宅分野での活用

プロジェクト2 主伐・再造林による資源の循環利用

森林経営管理制度に基づく森林管理体制の構築（市町村支援の強化）

- 森林経営管理制度推進会議等を開催するとともに、「宮城県市町村森林経営管理サポートセンター」を（一社）宮城県林業公社に設置し、県林業普及指導員と連携して市町村の実務を手厚く支援した。
- 県独自のガイドラインの拡充や市町村への情報提供等を行った。



プロジェクト3 経営能力の優れた経営者の育成、新規就業者の確保

儲かる林業実現のための経営者育成

- これまでの各種人材育成事業に加え、新たな取組として、経営者向けの研修を実施した。
- 意欲と能力のある林業経営者の選定・公表を行った。（29団体）
- 新規就業者確保に向け、山仕事ガイダンスを実施し、林業基礎知識等の講義を行った。

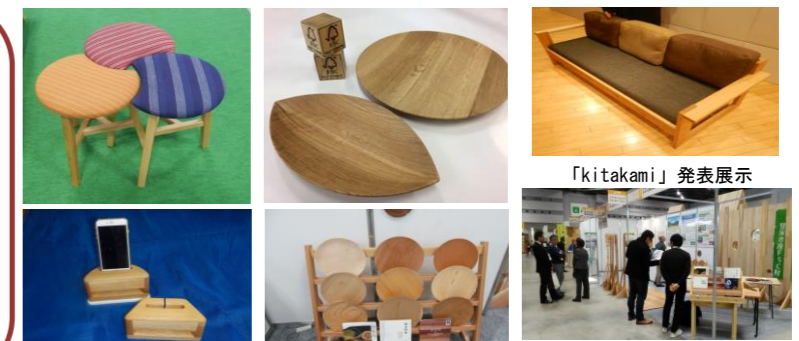


林業事業者向け経営者研修

プロジェクト4 地域・産業間連携による地域資源の活用

国際森林認証の取得による競争力強化

- 地域資源であるコナラ等の有用広葉樹を使い、家具製作事業体と伝統工芸職人グループと連携した製品づくりを支援した。
- FSC認証家具ブランド「kitakami」の発表展示を支援した。
- 東京で開催されたWOODコレクションに参加し、FSC広葉樹製品の展示PRを実施した。



認証材を使った各種木製品の試作品

WOODコレクション（東京都）でのPR活動

プロジェクト5 海岸防災林の活用等による震災の教訓伝承と交流人口の拡大

民間の力を活用した海岸防災林の管理

- 海岸防災林において、マツの植栽や下刈りなどの保育管理を行う団体への技術指導を行った。
- 海岸防災林で植栽等の活動を希望する団体に対し、活動の場を提供した。



海岸防災林での技術指導